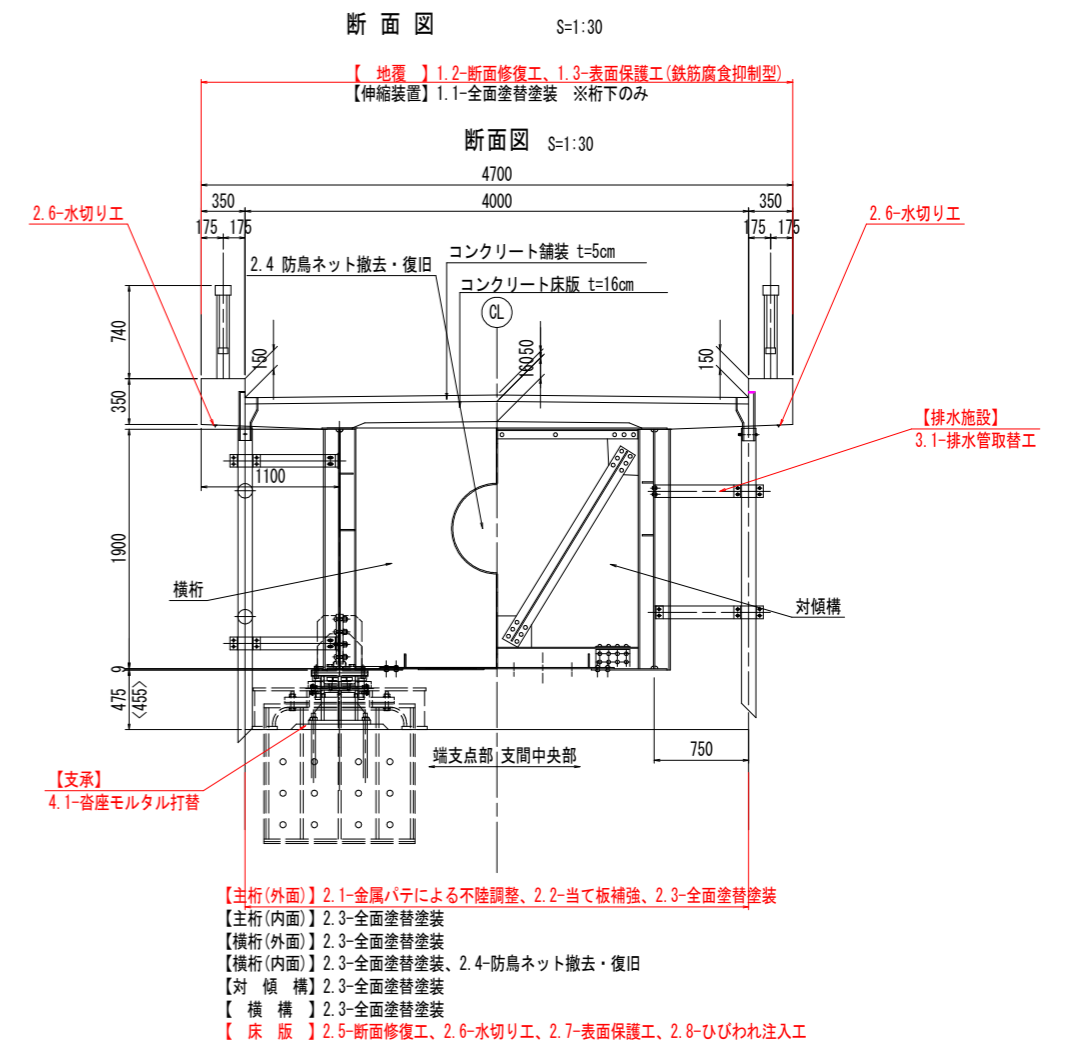
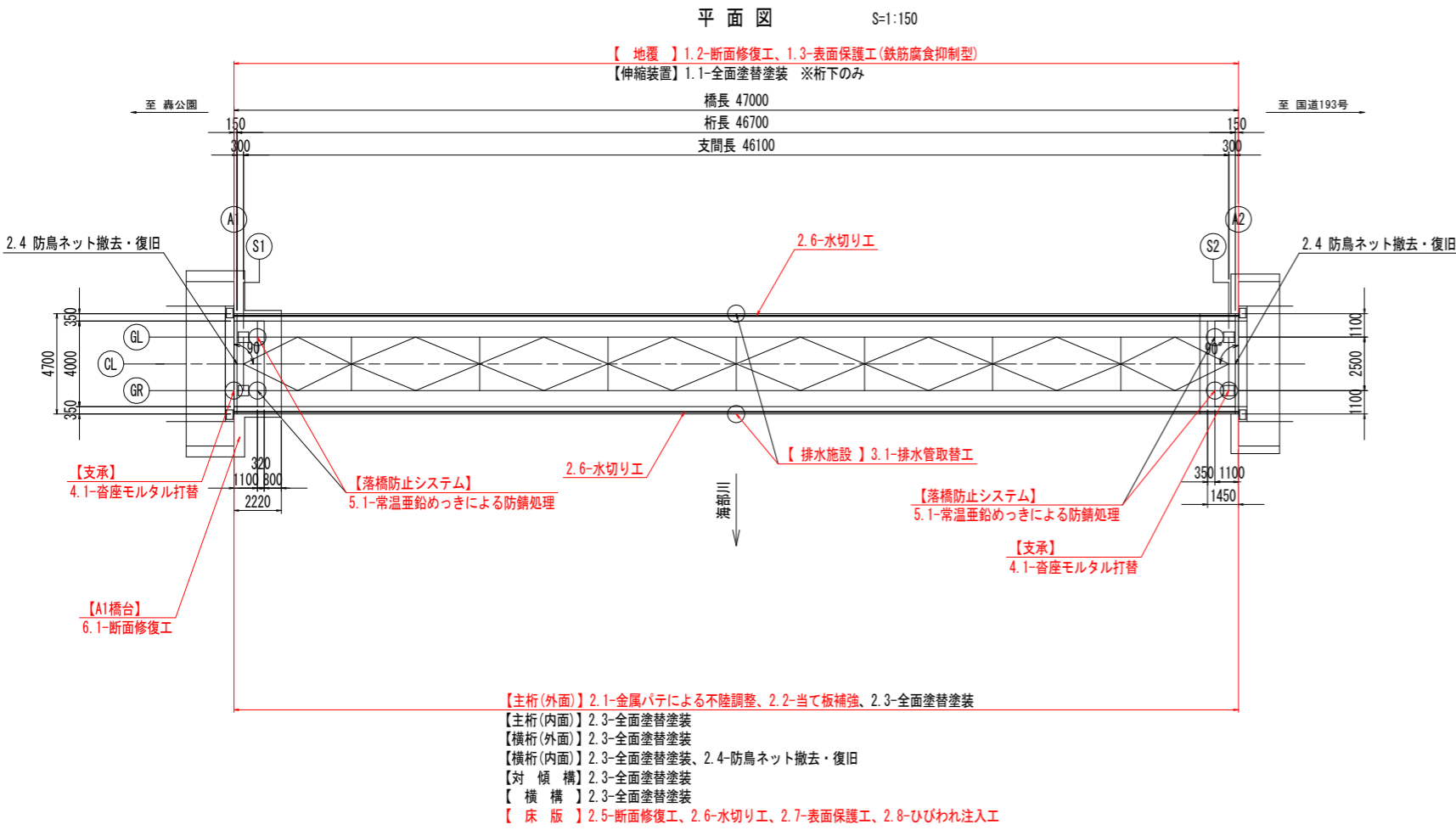
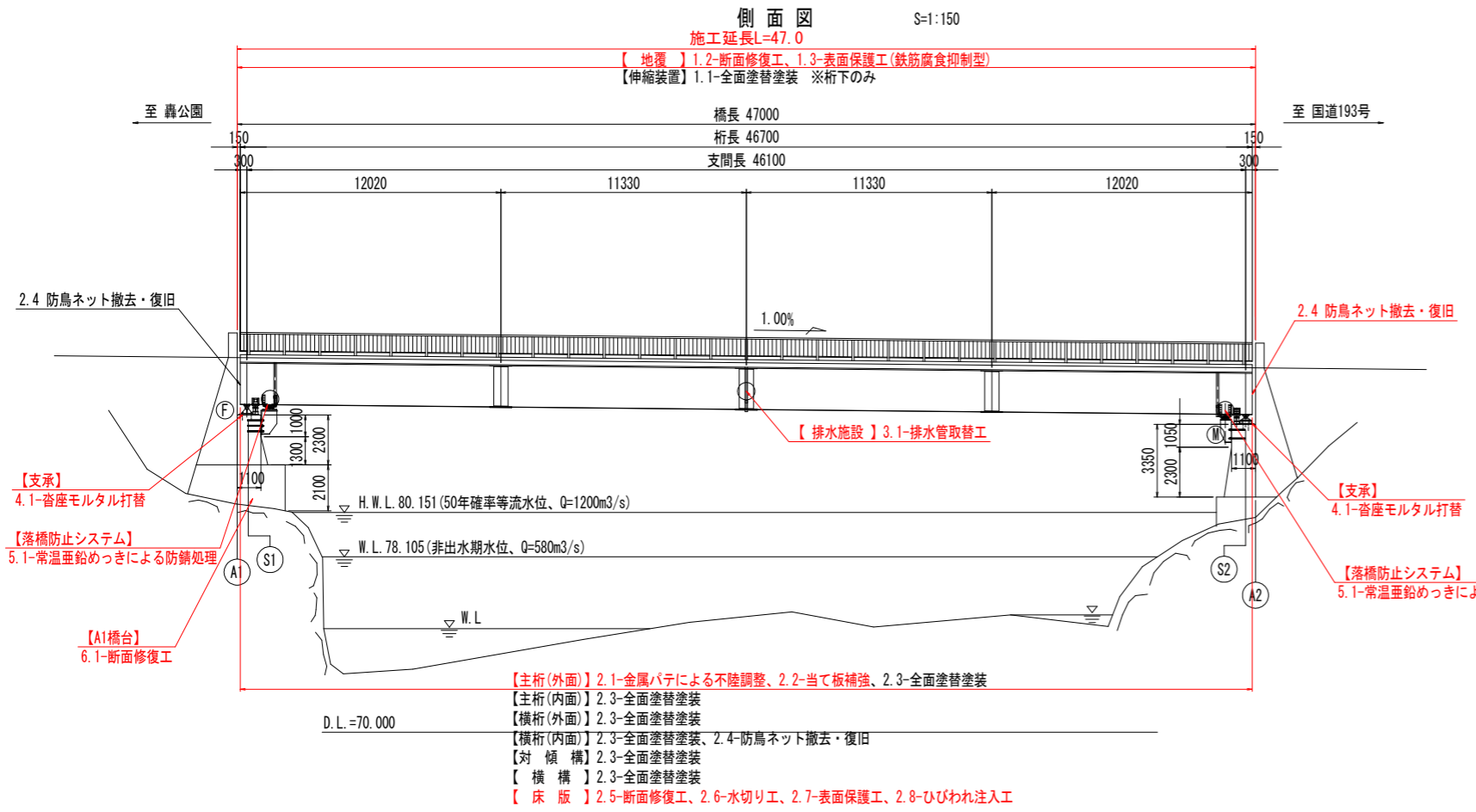


補修計画一般図



補修計画一覧表

部材区分	補修方法	材料等
伸縮装置 1. 地覆	伸縮装置	鋼製 ・1.1 全面塗替塗装 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
	地覆	RC ・1.2 断面修復工 ・1.3 表面保護工 ・ポリマーセメントモルタル ・表面含浸材(鉄筋腐食抑制型)
	主桁(外面)	鋼製 ・2.1 金属パテによる不陸調整 ・2.2 当て板補強 ・2.3 全面塗替塗装 ・補修パテ材 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
2. 上部工	主桁(内面)	鋼製 ・2.3 全面塗替塗装 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
	横桁(外面)	鋼製 ・2.3 全面塗替塗装 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
	横桁(内面)	鋼製 ・2.3 全面塗替塗装 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
	対傾構	鋼製 ・2.3 全面塗替塗装 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
	横構	鋼製 ・2.3 全面塗替塗装 ・水系塗膜剥離剤、RC-I 塗装系
	床版(張出)	RC ・2.5 断面修復工 ・2.6 水切り工 ・2.7 表面保護工 ・2.8 ひびわれ注入工 ・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントモルタル、軟質PVC製水切り材 ・表面含浸材(鉄筋腐食抑制型) ・エポキシ樹脂系
3. 排水施設	排水管	鋼製 ・3.1 排水管取替工 -
4. 支承	支承	モルタル ・4.1 沓座モルタル打替 ・無収縮モルタル
5. 落橋防止システム	落橋防止システム	鋼製 ・5.1 常温垂鉛めっきによる防錆処理 ・常温垂鉛めっき
6. 下部工	A1橋台	Co ・6.1 断面修復工 ・ポリマーセメントモルタル

実施設計図面

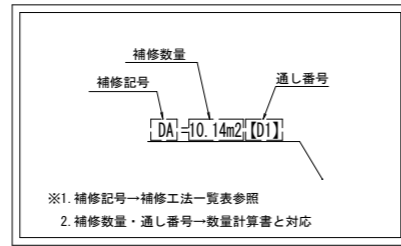
(皆の瀬橋)

工事名	R5波土 中部山溪轟公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事
路線名等	(一) 中部山溪轟公園線
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)
図面名	補修計画一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 12
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

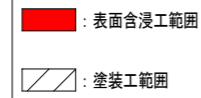
補修工法一覧表

補修工法	記号：単位	通し番号 【記号No.】
ひび割れ注入工 (土木補修用エポキシ樹脂系)	HI 1: - m	Ca
断面修復工：鉄筋露出無し	DA 1: 0.038 m ²	Da
断面修復工：鉄筋露出有り	DA 2: 0.090 m ²	Db
表面含浸工	HYO: 60.710 m ²	H
塗装工 (PCB含有塗膜)	TO: 1.87 m ²	TO
塗装工 (鉛含有塗膜)	TO: 105.75 m ²	TO
常温亜鉛めっき	B 1: - m	B

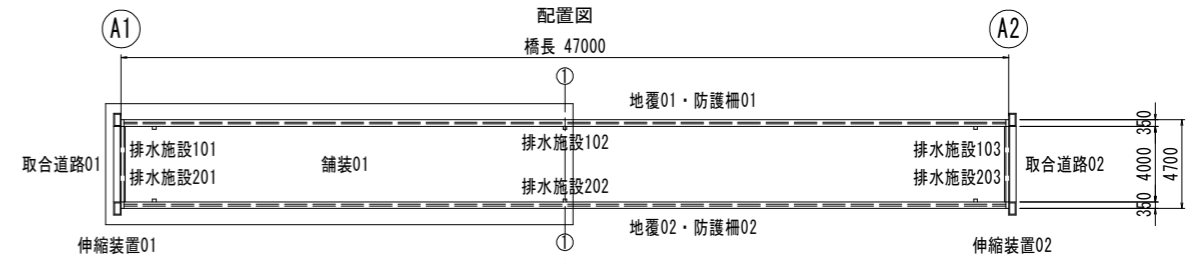
・【 】は計画箇所での補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)



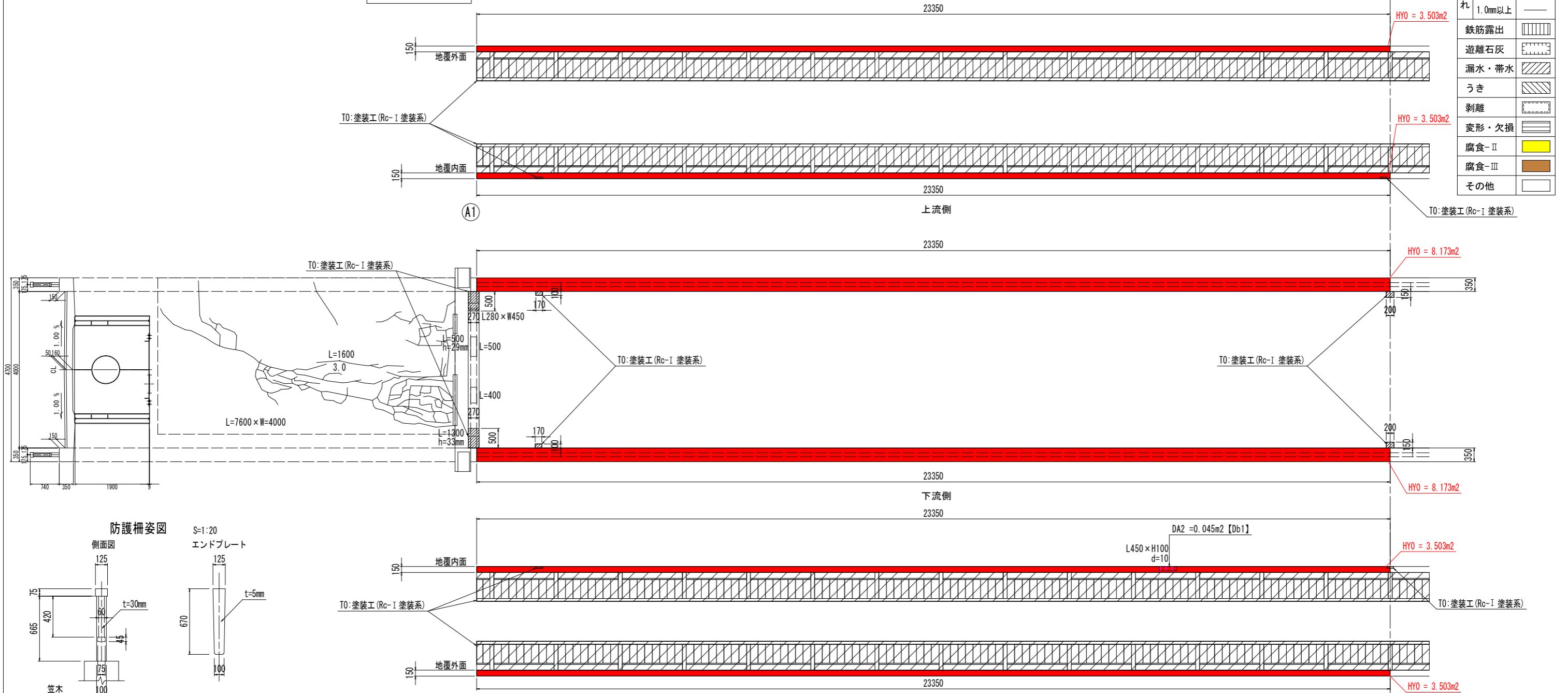
凡例



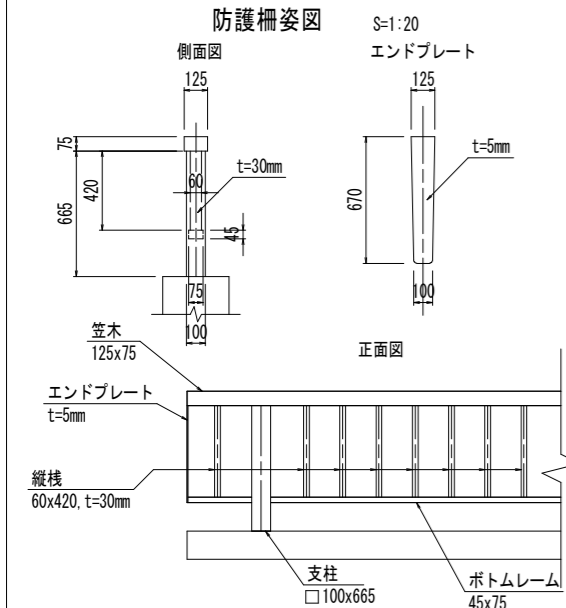
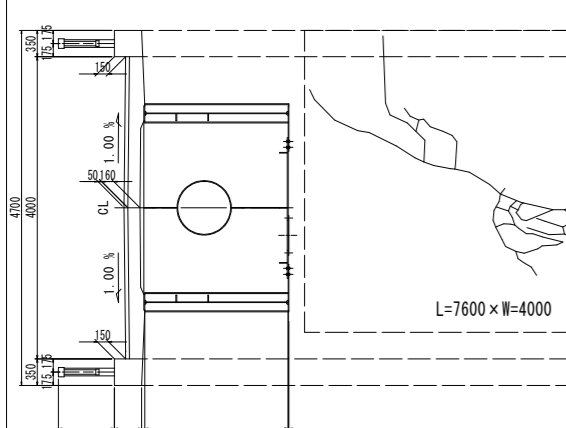
橋面補修計画図(その1)



平面図 S=1:50



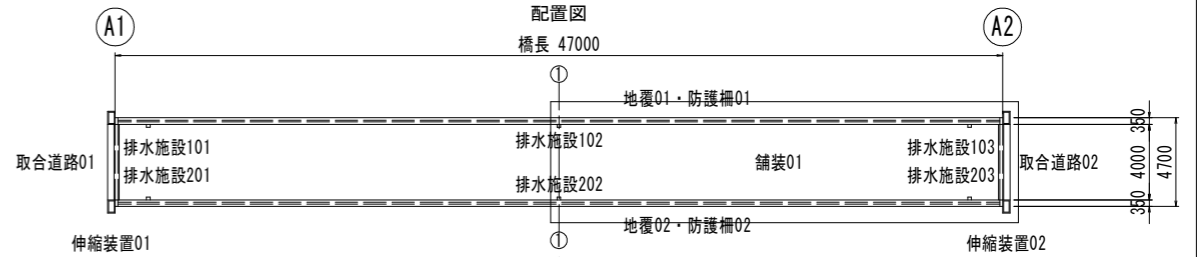
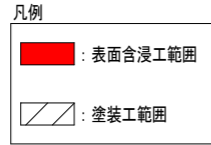
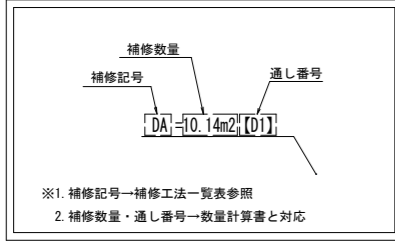
損傷凡例	
ひび割れ	0.2mm未満 0.2~1.0mm未満 1.0mm以上
鉄筋露出	[Symbol]
遊離石灰	[Symbol]
漏水・帯水	[Symbol]
うき	[Symbol]
剥離	[Symbol]
変形・欠損	[Symbol]
腐食-II	[Symbol]
腐食-III	[Symbol]
その他	[Symbol]



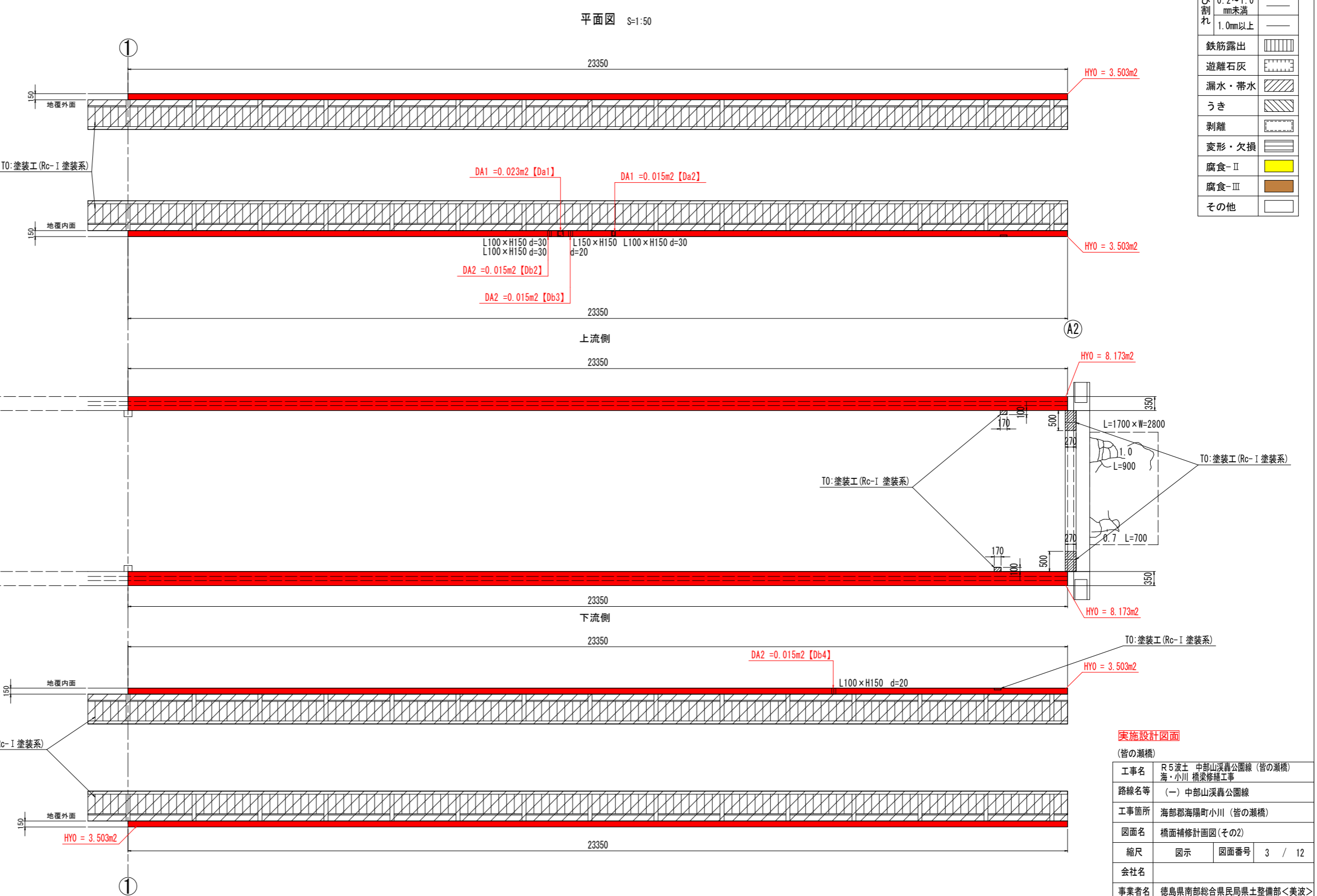
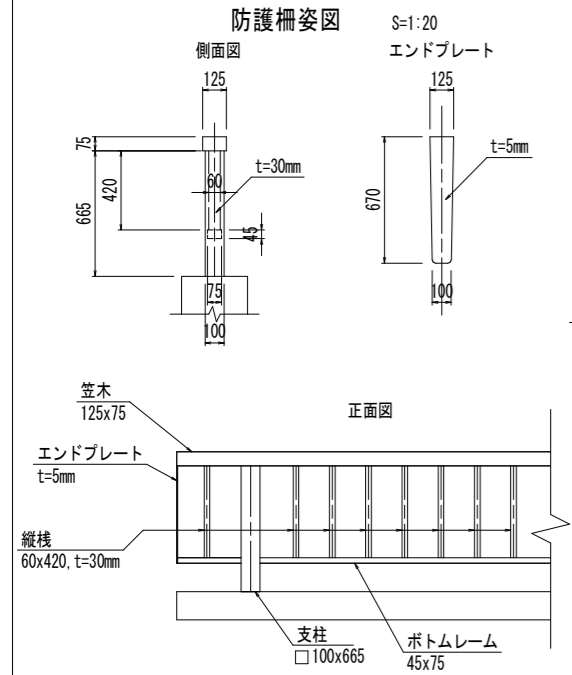
実施設計図面 (皆の瀬橋)

工事名	R5波土 中部山溪島公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事
路線名等	(一) 中部山溪島公園線
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)
図面名	橋面補修計画図(その1)
縮尺	図示 図面番号 2 / 12
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

橋面補修計画図(その2)



損傷凡例	
ひび割れ	0.2mm未満 0.2~1.0mm未満 1.0mm以上
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・帯水	
うき	
剥離	
変形・欠損	
腐食-Ⅱ	
腐食-Ⅲ	
その他	



実施設計図面
(皆の瀬橋)

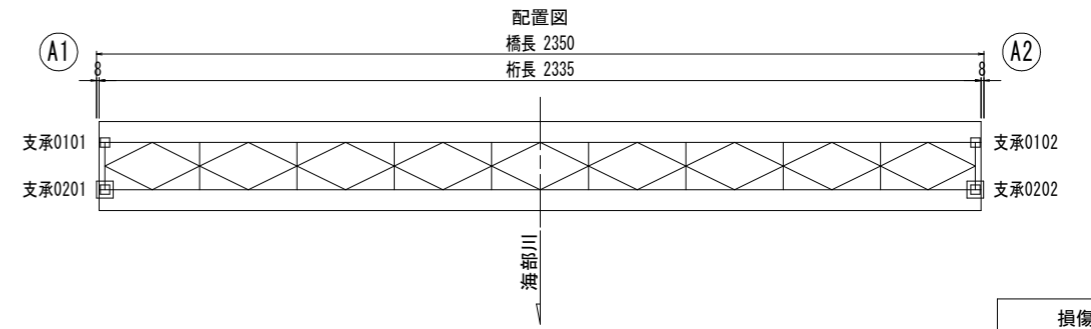
工事名	R5波土 中部山溪鼻公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事
路線名等	(一) 中部山溪鼻公園線
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)
図面名	橋面補修計画図(その2)
縮尺	図示 図面番号 3 / 12
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

凡例

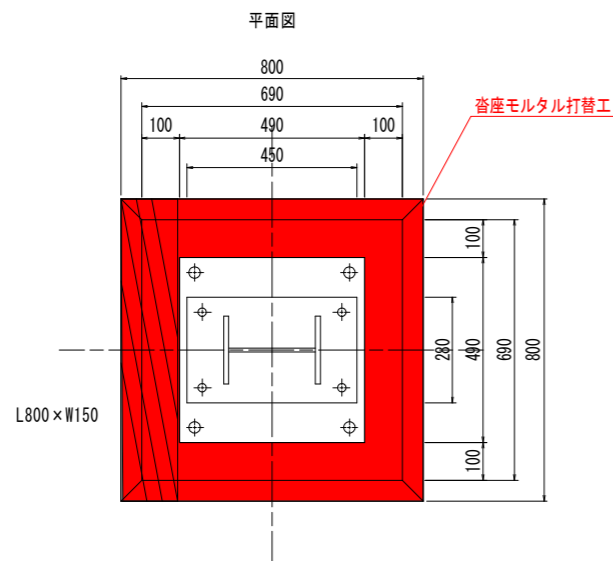
☐ : 沓座モルタル打替範囲

支承補修計画図(その1)

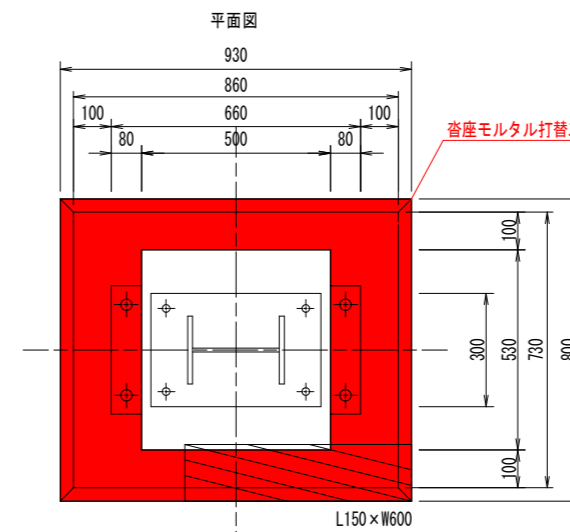
S=1:10



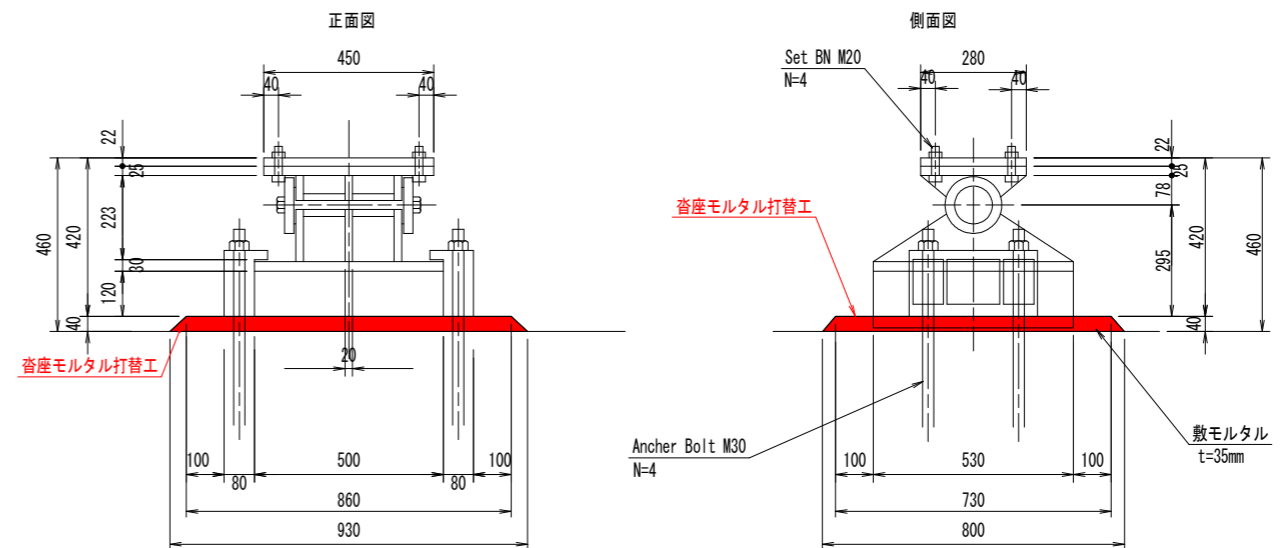
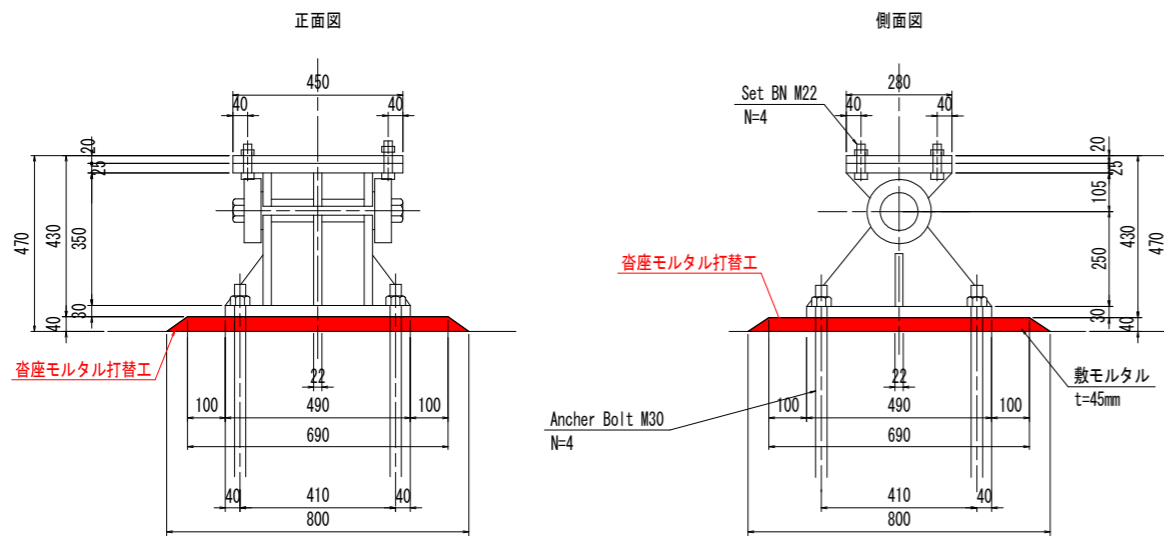
支承0201
(固定支承)



支承0202
(可動支承)



損傷凡例		
ひび割れ	0.2mm未満	---
	0.2~1.0mm未満	---
	1.0mm以上	---
鉄筋露出		
遊離石灰		□□□□
漏水・帯水		////
うき		\\\\
剥離		□□□□
変形・欠損		□□□□
腐食-Ⅱ		■
腐食-Ⅲ		■
その他		□



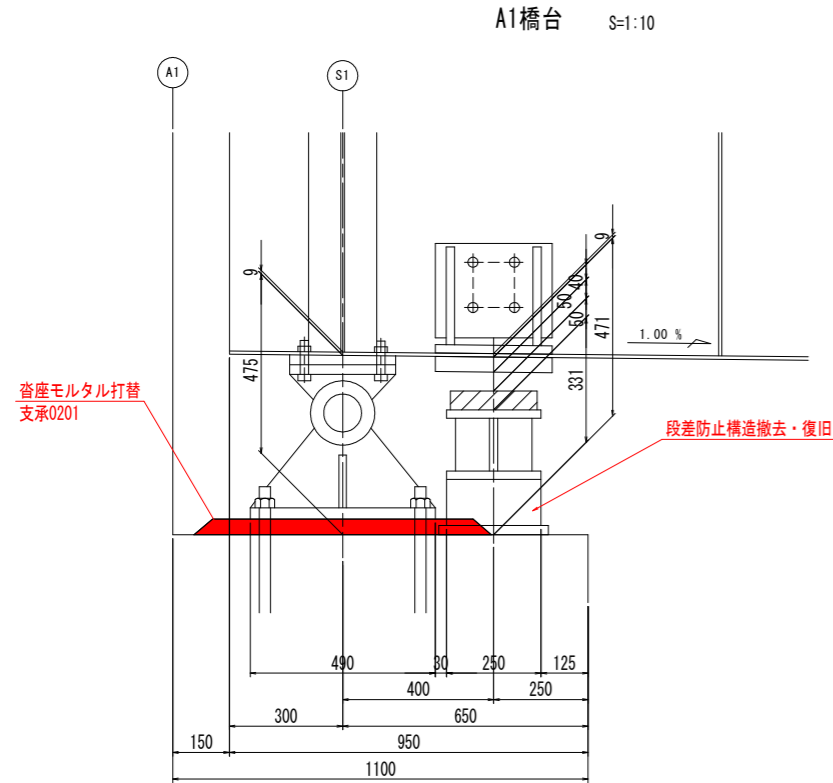
実施設計図面

(皆の瀬橋)	
工事名	R5波土 中部山溪鼻公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事
路線名等	(一) 中部山溪鼻公園線
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)
図面名	支承補修計画図(その1)
縮尺	S=1:10 図面番号 6 / 12
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

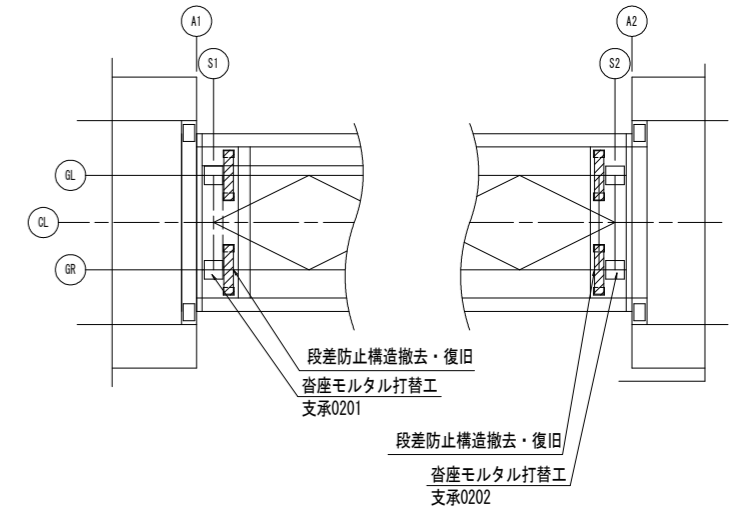
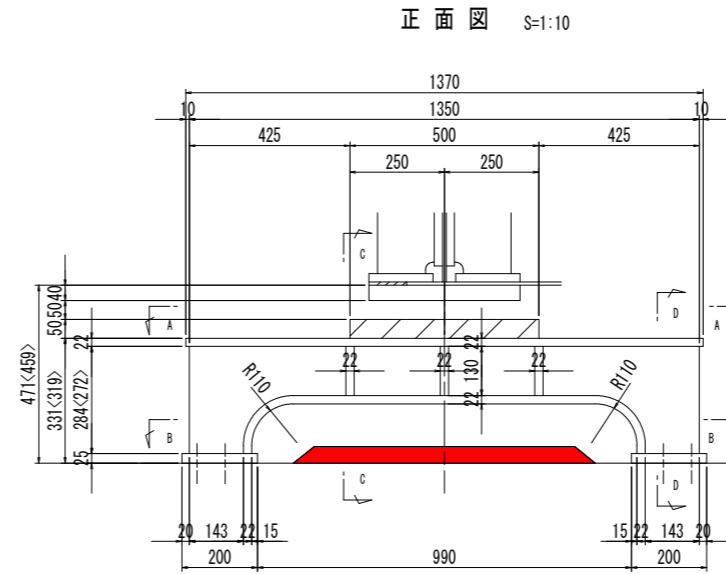
支承補修計画図(その2)

配置図

詳細位置図

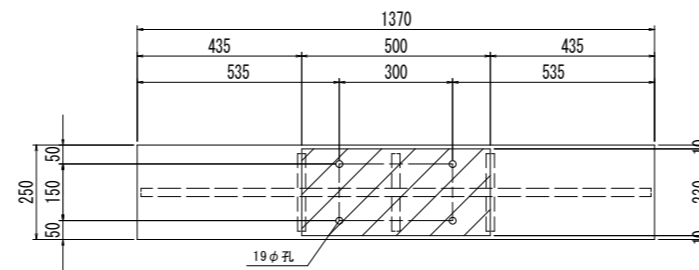


段差防止構造詳細図

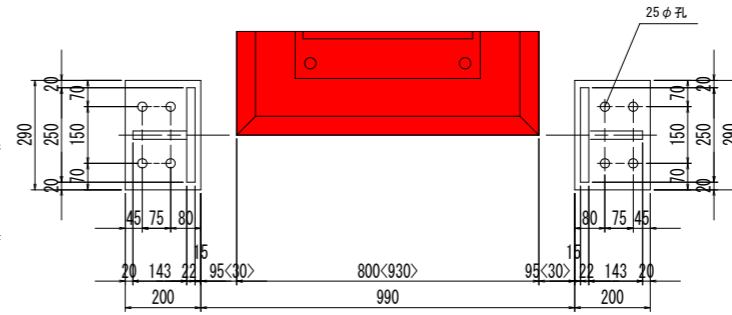


- A1橋台<A2橋台>
- 1-FLG PL 250x22x1370 (SM400A)
 - 1-WEB PL 284<272>x22x1350 (SM400A)
 - 1-FLG PL 250x22x1224<1200> (SM400A-5L)
 - 6-RIB PL 90x22x130 (SM400A)
 - 2-BASE PL 290x25x200 (SM400A)
 - 4-BN M16x80

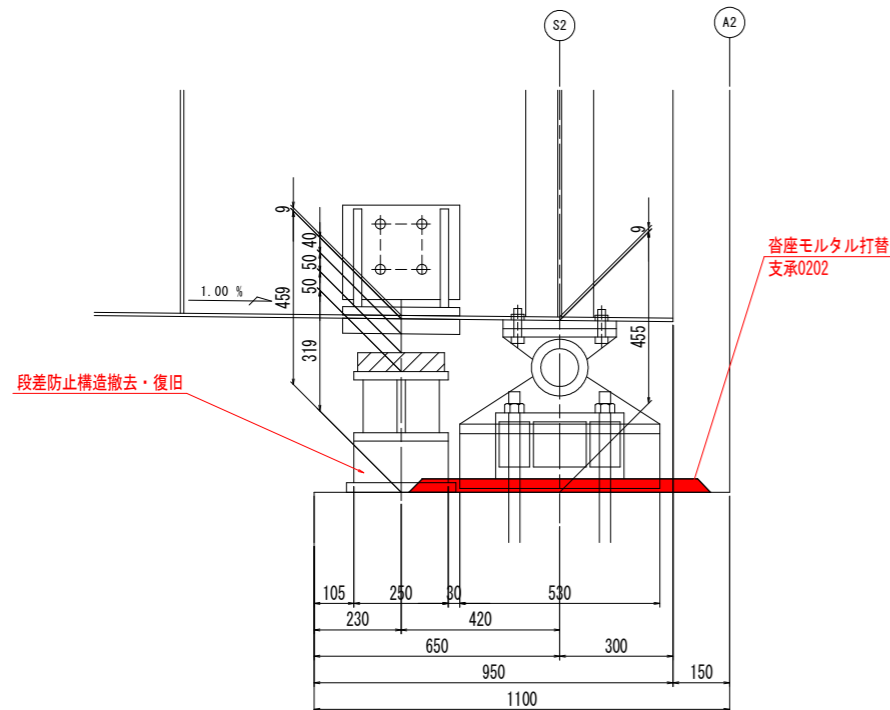
A - A S=1:10



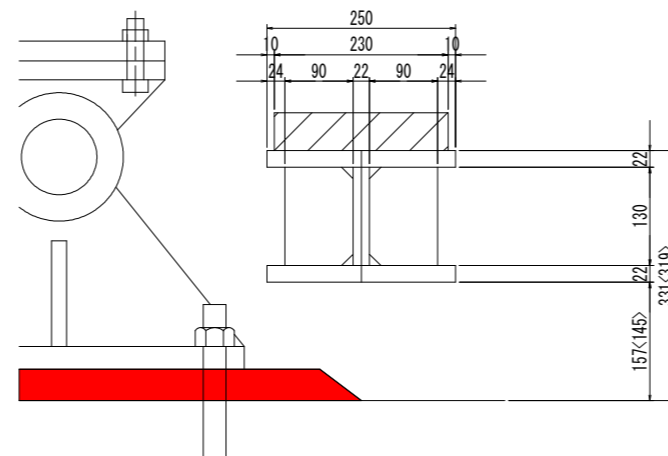
B - B S=1:10



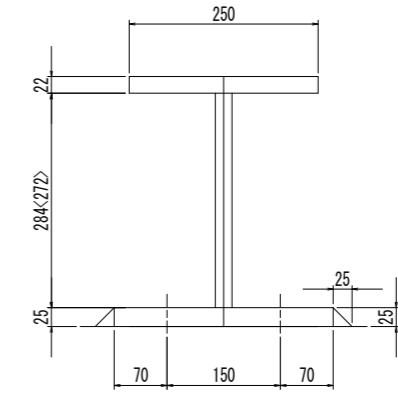
A2橋台 S=1:10



C - C S=1:5



D - D S=1:5



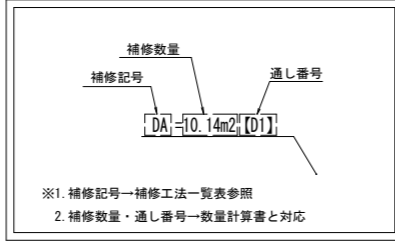
註) < > の寸法は、A2橋台を示す。

実施設計図面

(皆の瀬橋)	
工事名	R5波土 中部山溪轟公園線(皆の瀬橋)海・小川 橋梁修繕工事
路線名等	(一) 中部山溪轟公園線
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)
図面名	支承補修計画図(その2)
縮尺	図示 図面番号 7 / 12
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県土整備部<美波>

補修工法一覧表

補修工法	記号：単位	通し番号 【記号No.】
ひび割れ注入工 (土木補修用エポキシ樹脂系)	HI 1： - m	Ca
断面修復工：鉄筋露出無し	DA 1： - m ²	Da
断面修復工：鉄筋露出有り	DA 2： - m ²	Db
表面含浸工	HYO： - m ²	H
塗装工 (PCB含有塗膜)	TO： - m ²	TO
塗装工 (鉛含有塗膜)	TO： - m ²	TO
常温亜鉛めっき	B 1： 3.95 m	B



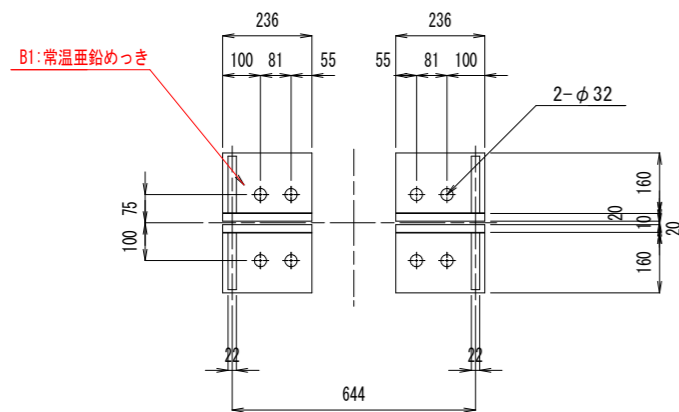
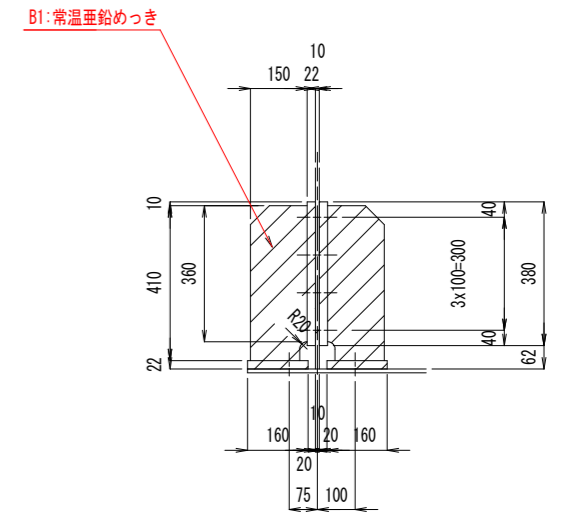
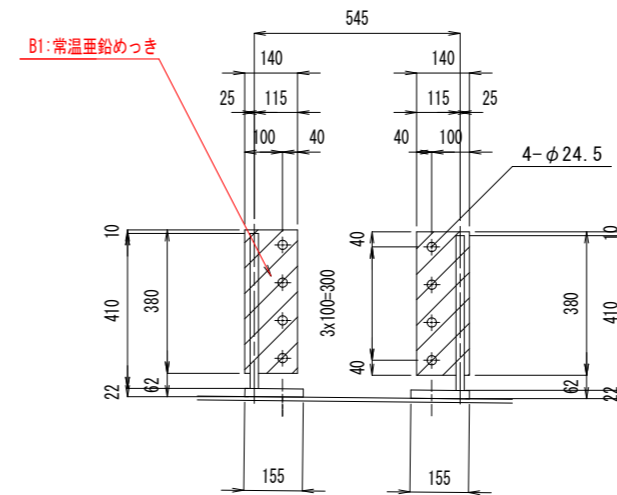
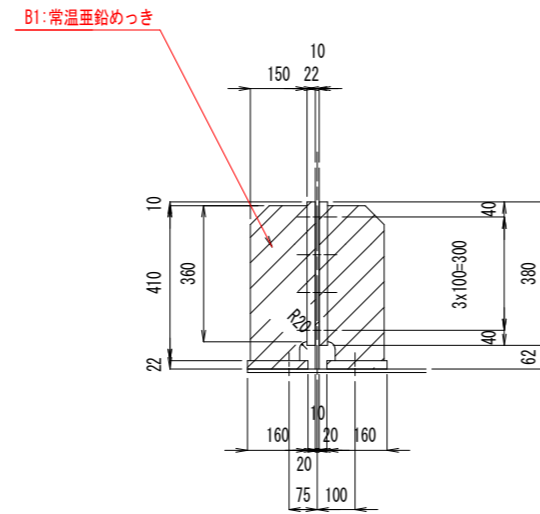
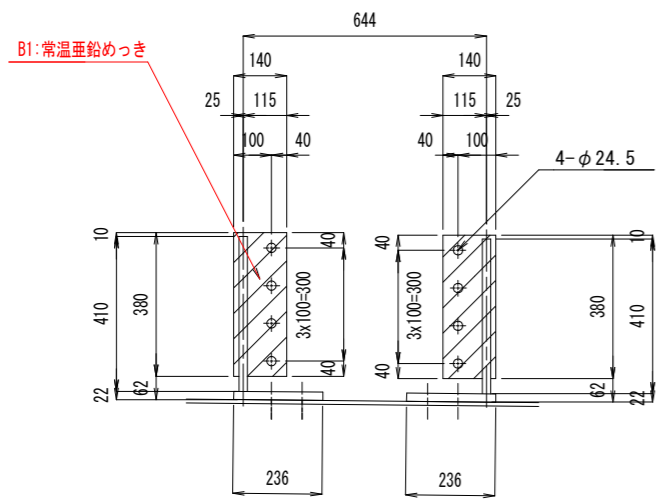
落橋防止システム補修計画図

主桁補強材詳細図

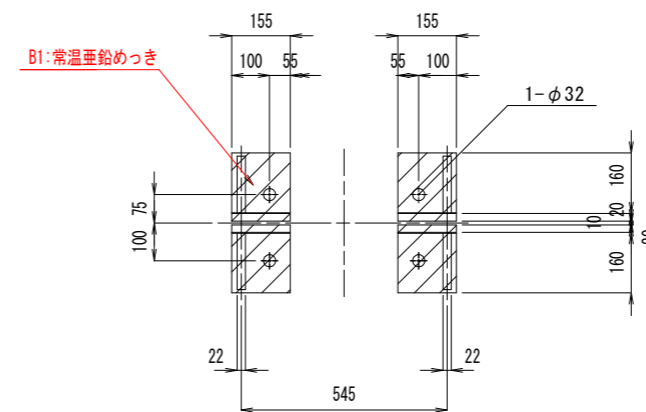
【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)

A1橋台側

A2橋台側



- 1基当り(全 2基)
 4 - PL 380x22x 140
 4 - PL 410x22x 150
 4 - PL 160x22x 236
 8 - TCB M22x 90 (S10T)



- 1基当り(全 2基)
 4 - PL 380x22x 140
 4 - PL 410x22x 150
 4 - PL 160x22x 155
 8 - TCB M22x 90 (S10T)

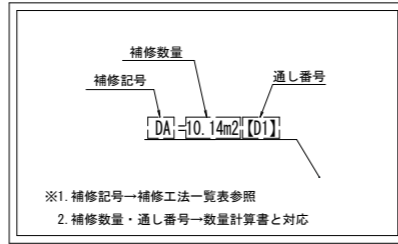
註) 補修対象箇所は、桁内面に設置された部材とする。

実施設計図面
(皆の瀬橋)

工事名	R5波土 中部山溪轟公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事		
路線名等	(一) 中部山溪轟公園線		
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)		
図面名	落橋防止システム補修計画図		
縮尺	S=1:10	図面番号	8 / 12
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

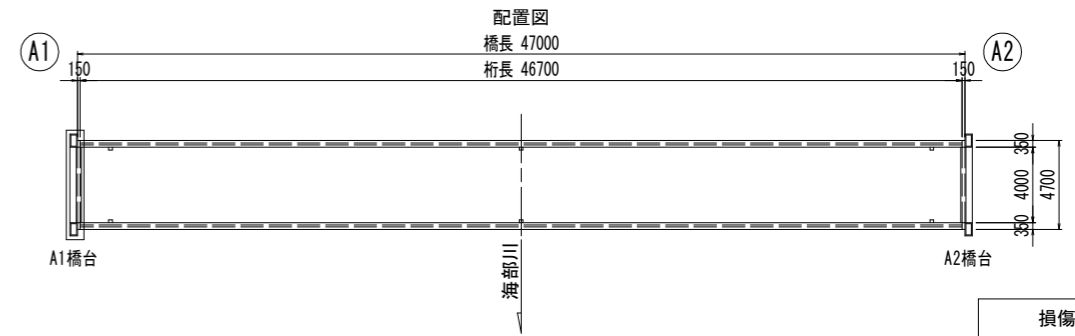
補修工法一覧表

補修工法	記号：単位	通し番号 【記号No.】
ひび割れ注入工 (土木補修用エポキシ樹脂系)	HI 1: - m	Ca
断面修復工：鉄筋露出無し	DA 1: 0.174 m ²	Da
断面修復工：鉄筋露出有り	DA 2: - m ²	Db
表面含浸工	HYO: - m ²	H
塗装工 (PCB含有塗膜)	TO: - m ²	TO
塗装工 (鉛含有塗膜)	TO: - m ²	TO
常温亜鉛めっき	B 1: - m	B

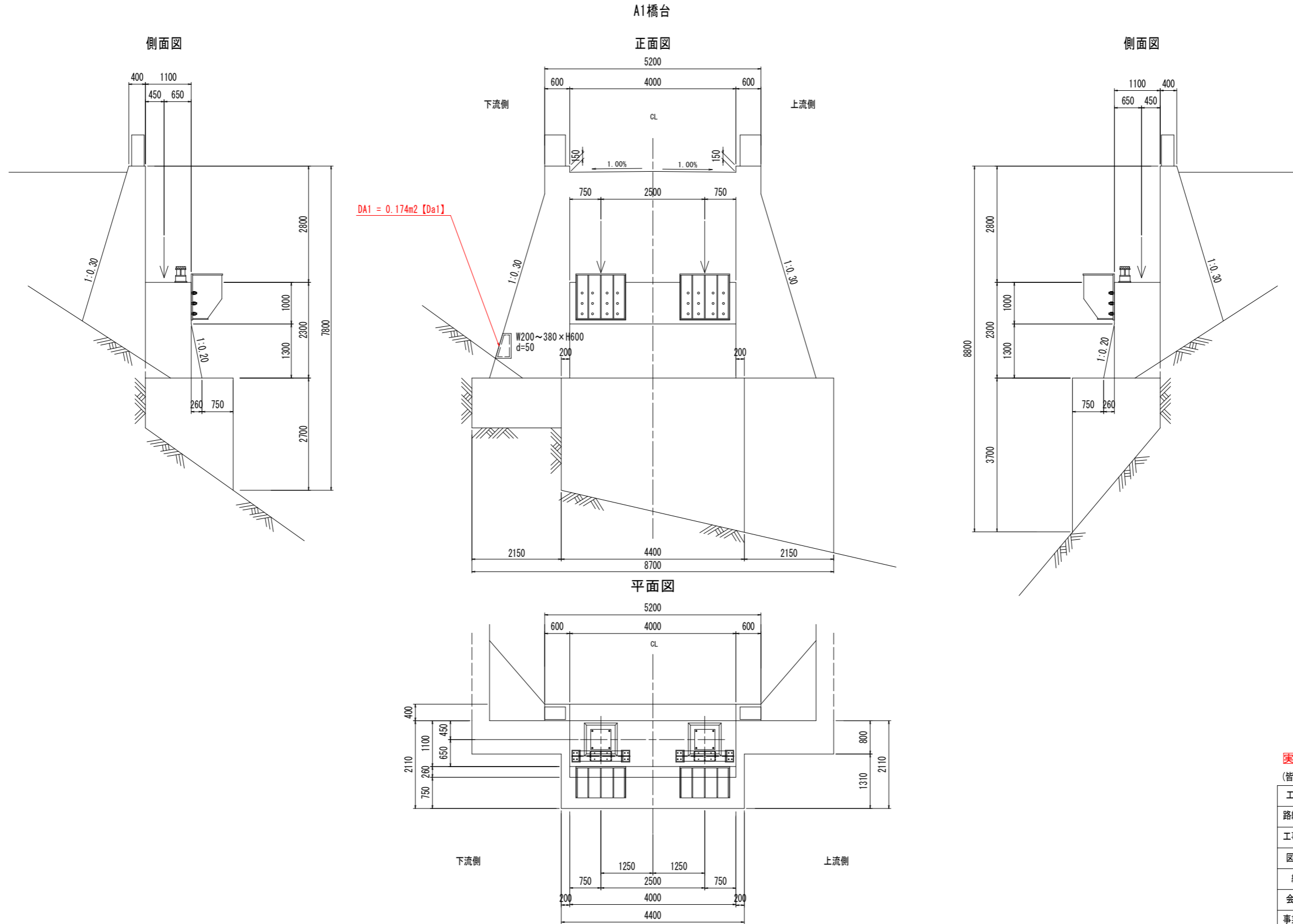


・【 】は計画箇所の補修工法の通し番号を示す。(数量計算書参照)

下部工補修計画図 S=1:50



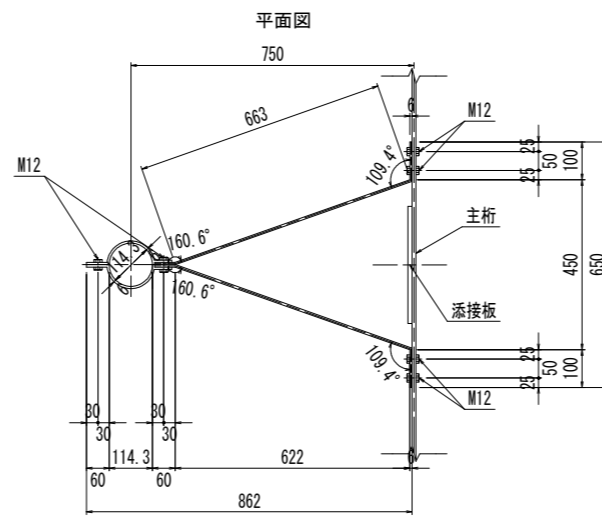
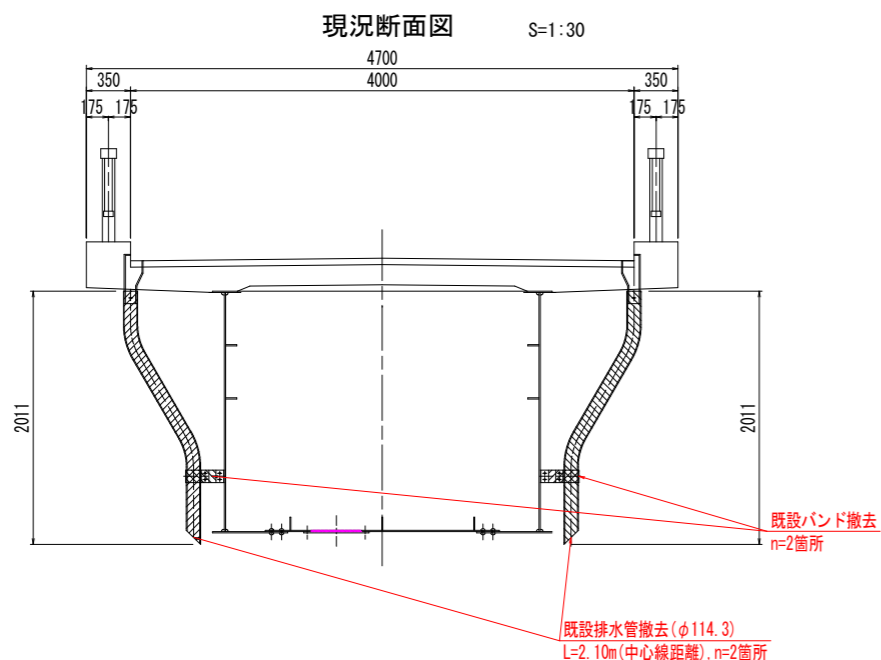
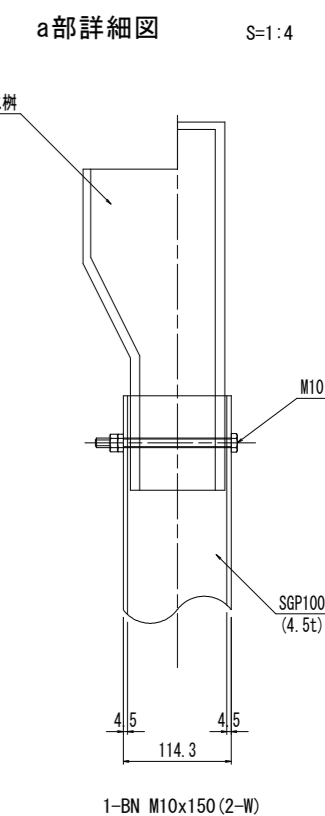
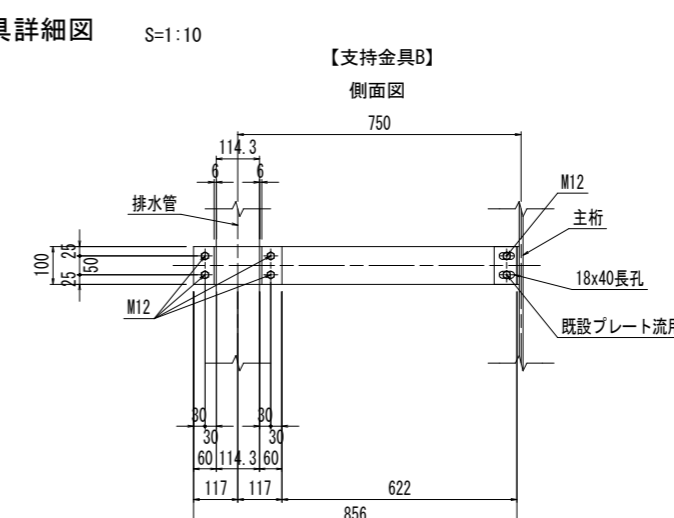
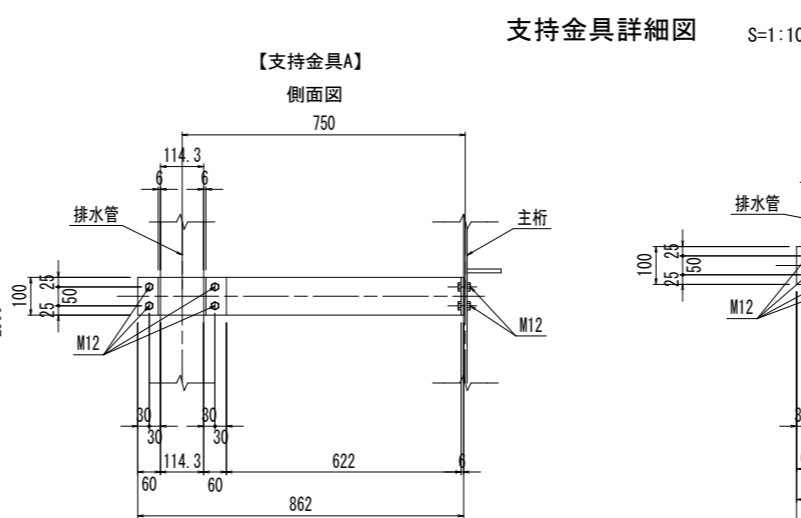
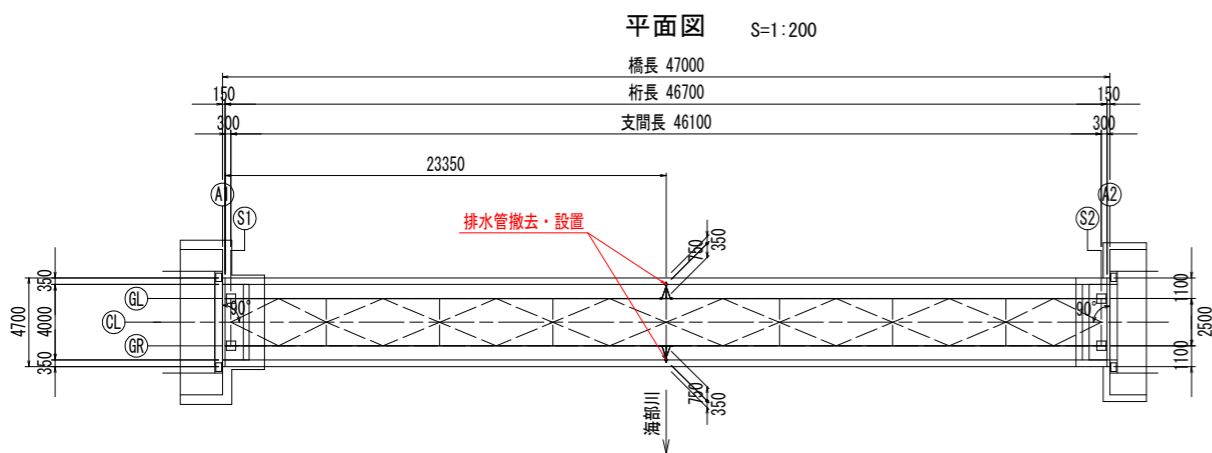
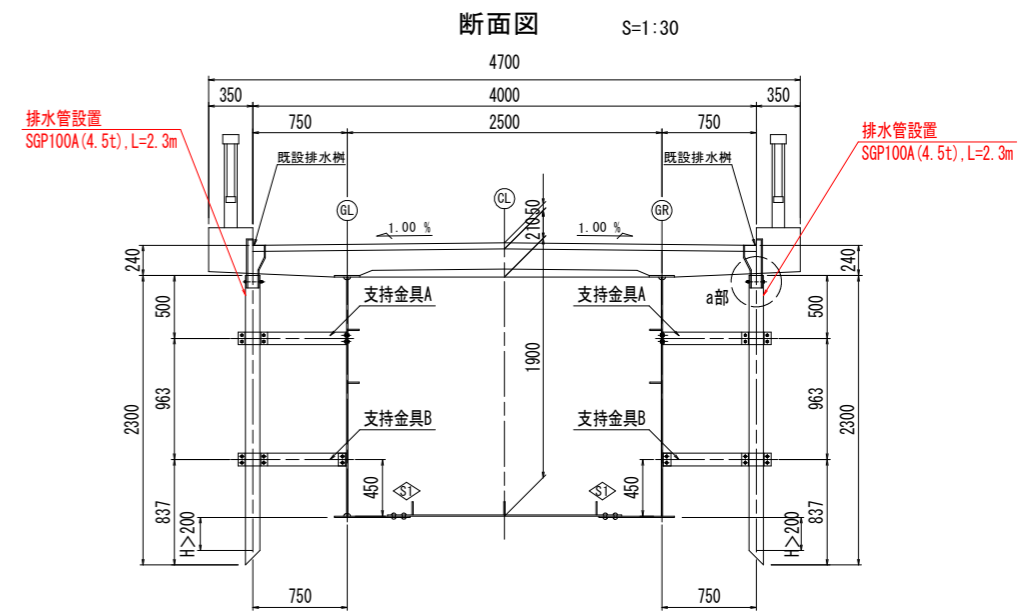
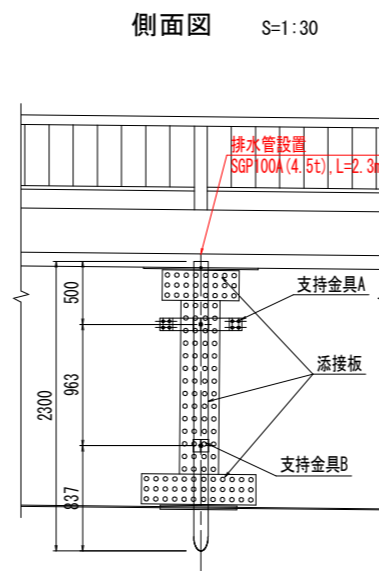
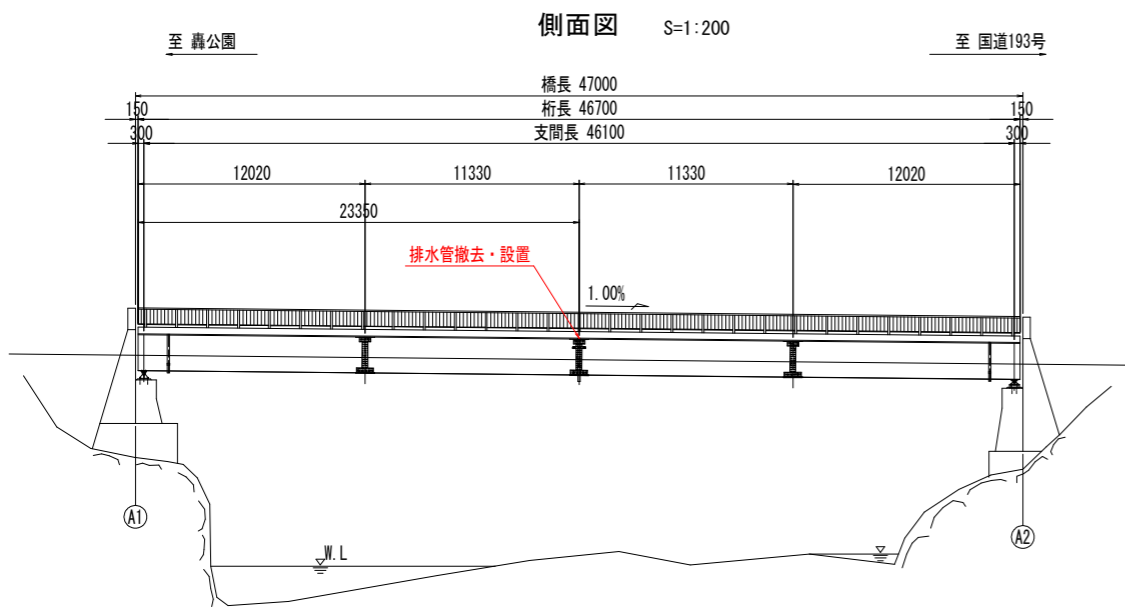
損傷凡例	
ひび割れ	0.2mm未満
	0.2~1.0mm未満
	1.0mm以上
鉄筋露出	
遊離石灰	
漏水・帯水	
うき	
剥離	
変形・欠損	
腐食-Ⅱ	
腐食-Ⅲ	
その他	



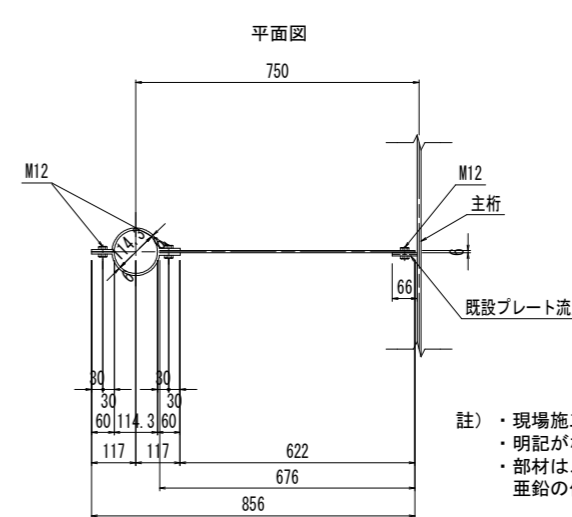
実施設計図面

工事名	R5波土 中部山溪鼻公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事		
路線名等	(一) 中部山溪鼻公園線		
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)		
図面名	下部工補修計画図		
縮尺	S=1:50	図面番号	9 / 12
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

排水施設補修計画図



2-PL 100x6x818
2-PL 100x6x282
2-BN M12x60 (2-W)
10-BN M12x40 (2-W)
現場孔明 (φ14) : 12ヶ所



1-PL 100x6x676
2-PL 100x6x294
4-BN M12x40 (2-W)
2-BN M12x45 (2-W)
現場孔明 (φ14) : 6ヶ所

註) ・現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
・明記がない材質は、全てSS400とする。
・部材は、全て溶融亜鉛メッキを施す。
・亜鉛の付着量は JIS H 0401 HDZT77 (旧規格HDZ55) とする。

実施設計図面 (皆の瀬橋)

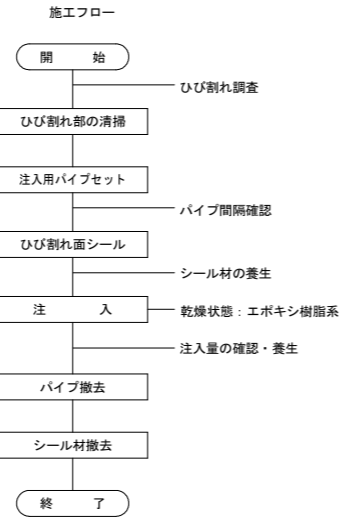
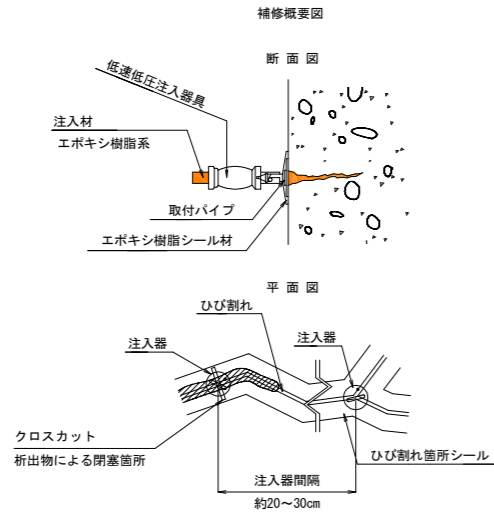
工事名	R5波土 中部山溪轟公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事		
路線名等	(一) 中部山溪轟公園線		
工事箇所	海部郡海陽町小川 (皆の瀬橋)		
図面名	排水管補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	10 / 12
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

補修工法要領図(その1)

ひび割れ補修工(注入工法): HI 1

ひび割れ補修工(注入工法)…… 0.2~1.0mm未満のひび割れにエポキシ樹脂系の材料を注入して、防水性、耐久性を向上させ、劣化因子の進入を防ぐ工法である。

注入材
土木補修用エポキシ樹脂注入材



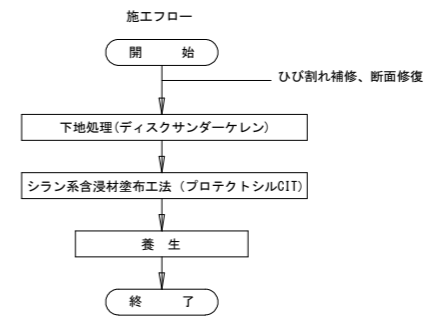
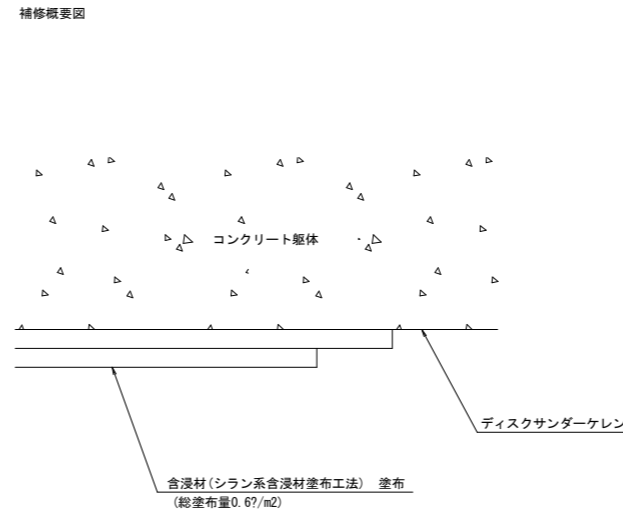
注記) ひび割れ表面に析出物のある場合
表面の析出物を除去し、ひび割れに直交する切り込み(クロスカット: 深さ1~2mm程度)を入れ、この空隙に注入器を設置すること。

表面含浸工: HY0

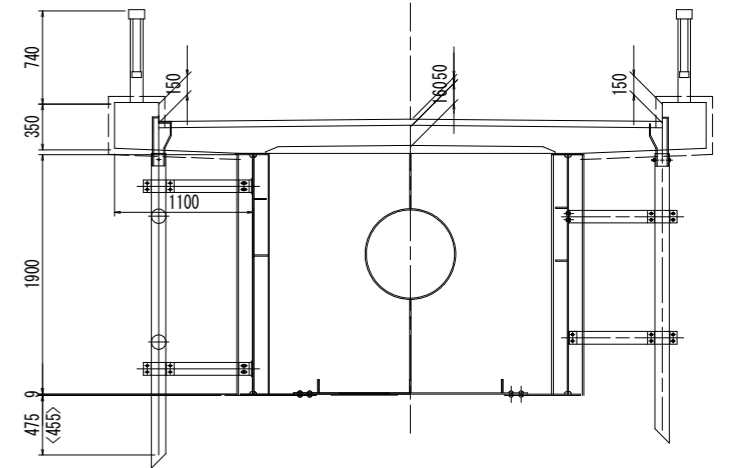
シラン系含浸材塗布工法 鉄筋腐食抑制型 (プロテクトシルGIT)

表面含浸工…… 既設コンクリート表面に含浸系の表面含浸材を塗布することで、コンクリート表面の空隙・0.2mm未満のひび割れを充填し、水密性を向上させることで、外部からの水や塩分の侵入を抑制する。

作業要領…… 上向き: 4回塗り (0.157/m²x4回)
横向き: 3回塗り (0.207/m²x3回)
下向き: 2回塗り (0.307/m²x2回)



施工範囲図

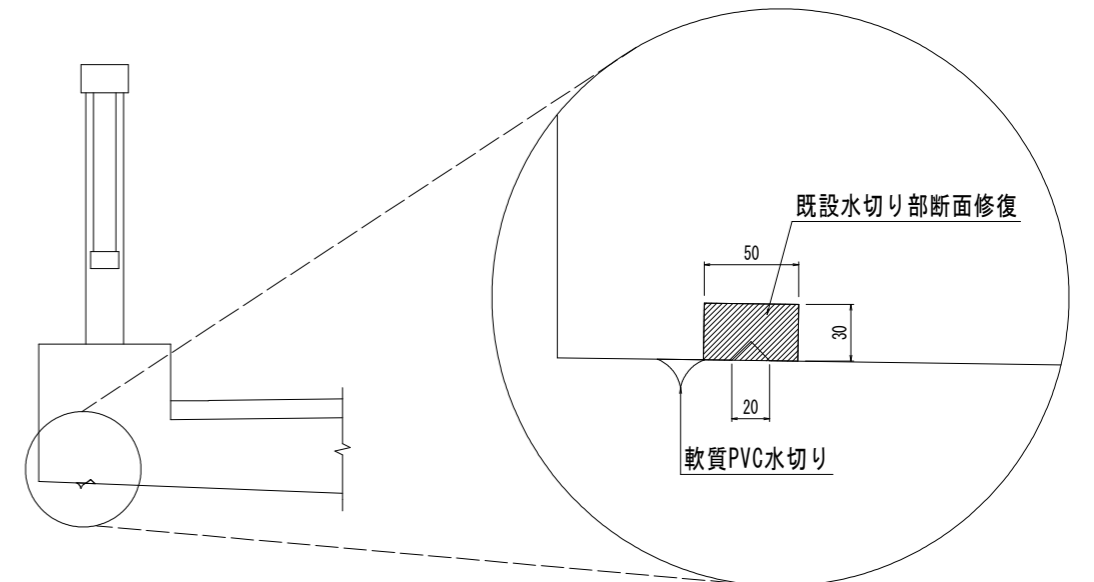
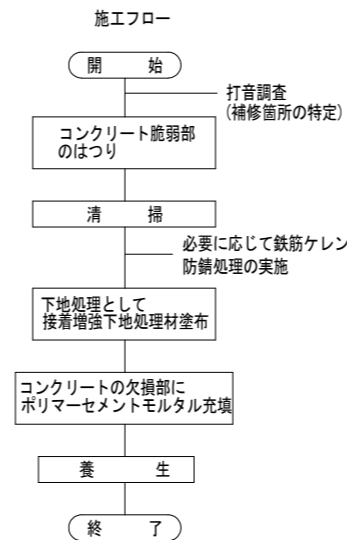
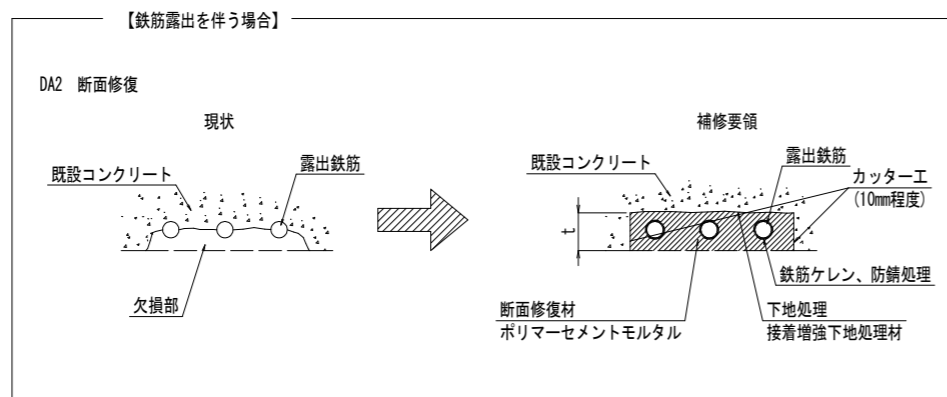
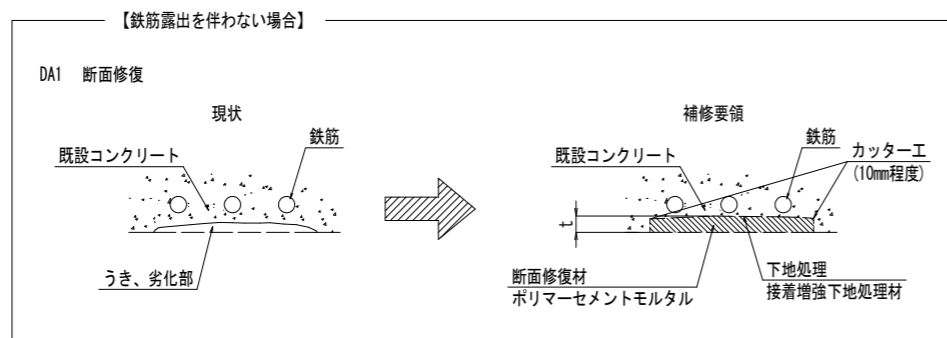


凡例: --- 表面保護工

水切り補修工要領図: DA2

断面修復工(左官仕上げ工法): DA 1, DA 2

断面修復工…… 既設コンクリートのうき、鉄筋露出、表面劣化箇所等に対し、劣化コンクリート部を除去した後に、ポリマーセメントモルタルを用いて断面を修復する工法。



実施設計図面 (皆の瀬橋)

工事名	R5波士 中部山溪轟公園線(皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事
路線名等	(一) 中部山溪轟公園線
工事箇所	海部郡海陽町小川(皆の瀬橋)
図面名	補修工法要領図(その1)
縮尺	-
図面番号	11 / 12
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>

補修工法要領図（その2）

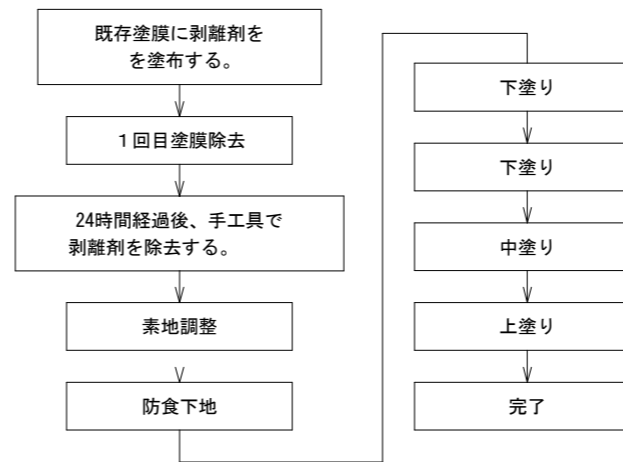
塗装工 (RC-Ⅰ) : T0

塗装塗替え仕様

塗装仕様 鋼材部 (Rc-Ⅰ系 スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm/m ²)	塗装間隔
塗膜除去	湿式塗膜剥離剤工法 水系塗膜剥離剤 (中性)	1000 (500 2回塗り)	-	-
素地調整	1種ケレン			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日~10日
膜厚合計			250	

塗替塗装工 フロー図

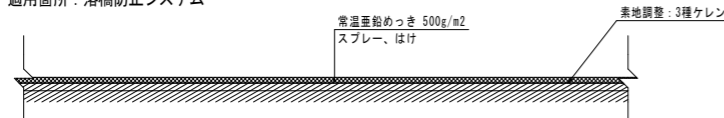


- 注1) 1. 施工に先立ち現地調査を行い、図面との整合性を確認すること。
 2. 塗膜中には、鉛および微量のPCBが含まれるため、塗膜の除去には剥離剤を使用すること。
 3. 塗膜除去の際には、有害物に対する適切な足場養生を行うこと。また作業員の保護具も化学防護服、などの有害物に対して適切なものを使用すること。
 4. 剥離剤の使用に先立ち、使用する剥離剤、塗布量、塗布回数等の事前試験を実施し、変更協議を行うこと。
 5. 剥離剤で除去した塗膜片は規定された溶出試験を行い、(特別管理)産業廃棄物としての区分を確認し、運搬ならびに処分に際しては資格のある処分場等で適切に処分を行うこと。
 6. 除去後の塗膜片、および除去作業で使用した足場養生材、作業保護具等は適切に管理及び処分を行うこと。
 7. 既設塗装歴が塗替えて除去される場合は移設すること。

常温亜鉛めっき塗装工 : B 1

防錆処理…… 鋼材の腐食や防食機能の劣化に対し防錆処理を行う。
 3種ケレン後、鋼材露出部に常温亜鉛めっきによる防錆処理を行う。

適用箇所：落橋防止システム



塗装仕様 (ローバル工法 ハケ)

No.	工程	塗布量 (g/m ²)	※実塗布量 (g/m ²)		回数	塗装間隔 (20° C)
			ハケ	ドライ		
1	素地調整		ワイヤーブラシ、研磨布、研磨紙等			
2	常温亜鉛めっき塗料	250	300	40	1	30分以上
3	常温亜鉛めっき塗料	250	300	40	1	
合計		500	600	80		

※実塗布量ハケ塗装で20%のロス分を含む。

実施設計図面

(皆の瀬橋)

工事名	R5波土 中部山溪轟公園線 (皆の瀬橋) 海・小川 橋梁修繕工事		
路線名等	(一) 中部山溪轟公園線		
工事箇所	海部郡海陽町小川 (皆の瀬橋)		
図面名	補修工法要領図 (その2)		
縮尺	-	図面番号	12 / 12
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局県土整備部 <美波>		